

柿木図書館等の更新に関するワークショップ（第3回） 各参加者の振り返りシートの内容

<p>本日のワークショップの良かった点</p> <p>「取組への期待」を再整理され、次回第4回のワークショップで今回提示された3つのたたき台を比較する際の、「取組への期待」が達成できているかを確認するための視点を明示して戴いたことは、検討過程および結果の追認可能性を高めるものとして、非常に有効に機能するものであると考えます。</p> <p>また、前回「地域活動の拠点の維持」を「取組への期待」に追加して戴きたいとお願いしたことについては、取組への期待「地域の人々が集い、交流が生まれる」の前に「様々な用途で利用ができ」という文言を追加して戴き、視点として「現在の地域活動を継続し、発展していくための場所が確保されているか」を明示して戴きました。有難うございました。</p> <p>ほぼスケジュール通りに進行が進んだ事がよかった 区職員の仕切りが上手く活発な意見交換が出来た 多くの担当所管の方々に具体的な質問が出来てもやもやが解決出来た</p> <p>いい点、懸念事項が整理されていてよかったです。</p> <p>たたき台案の比較が分かりやすかったです。</p> <p>同班欠席者が多かった為、個人的意見を深堀する事が出来たのは良かったと思いました。</p> <p>ファシリテーターの進行で活発な意見交換ができた。</p> <p>区の方針をわかりやすく提示していたこと。</p> <p>たたき台のまとめ資料がわかりやすく、意見を出しやすかったです。</p>
<p>本日のワークショップで伝えられなかったこと</p> <p>四宮保育園の仮設園舎用地に関する検討状況を示して戴きましたが、「遊び場116番」は四宮保育園から西武新宿線の線路を越えた場所にあり、朝の通勤時には電車の本数が多く、踏切が開くのを待つ時間が相当に長くなり、いくらここへの仮移転を前提に応募した園児の保護者といえども、西武新宿線の南側に住んでいる保護者にとって、心理的な負担は相当に増すものと容易に想像ができます。高架化が進捗し、当該踏切の除却が仮移転期間中になされるのならよいのですが、余り期待はできないと思います。「上井草二丁目の団体利用農園」は「農地としての利用を前提に区が借りているため、他用途への転用は困難」とのことですが、3年間の一時的な仮移転であり、地主の方と鋭意交渉して戴く等、再考をお願いできないでしょうか。この少子化が問題視される時代に、保育園の重要性は各方面の方に理解されていると考えます。</p> <p>【たたき台1】当面の間ゆうゆう館利用者もそのまま区民集会所を使うことにより地域コミュニティの継続が可能になると思う 区民集会所の解体時（約20年後）には新たに使える土地が出てくるかもしれないのでその時に改めて地域の施設の検討をしたい 集会所解体時に保育園ゆうゆう館の増築は可能ですか 【たたき台2】具体的に現地改築時の代替施設利用方法を知りたい【たたき台3】敷地③の敷地に図書館と他施設合築（併設複合化）出来ない理由を詳しく知りたい（最大今より大きな施設建築が出来ると認識している）</p> <p>案3の場合、保育園が今と比べてかなり広くなると思います。広くなりすぎて、使える容積を使い切らないのではないのでしょうか。そのしわ寄せが、図書館・集会所施設に来てしまうような気がします。</p> <p>スライドP12視点 (3) 安全・安心の確保 バリアフリーの視点のみなので、防犯の視点を、多世代が交流する施設の不審者対策として、例えば次のとおり追加したい 「開放的で視認性が高い空間になっているか。（閉鎖的な空間になっていないか。）」 (1) 「交流が生まれる」という取組への期待にも関連する視点と考える。</p> <p>保育園の代替地案が少なく、話し合いの中で参加者から候補地がいくつか上がって来ていた。区の考えた代替地は踏切や騒音というマイナス要素があったので、保育園という施設の利用を考え、さらに候補を広げて検討してほしい。</p> <p>ほとんどのことは言えたかなと思います。どうしても親目線での意見ばかりになってしまい、若干申し訳なかったです。</p>
<p>その他感想や質問</p> <p>1. (1) 現四宮保育園の敷地も柿木図書館の敷地も、高さ制限10m、建ぺい率50%、容積率100%の第一種低層住居専用地域にあり、公共施設としての天井高を考慮すると、2階建て以上の建物は建てられないとのご説明を戴きました。また、現在の柿木図書館は、地階を含めて3階構造ですが、高さ制限、建ぺい率、容積率を満たしている建物であることのご説明を戴きました。「たたき台3」の場合も、これらの要請を満たせば3階構造が可能と理解してよろしいでしょうか。利用者にとっては延床面積が重要であり、2階構造であっても、3階構造と同等の延床面積が確保されるのであれば、不利益はないと考えます。</p> <p>(2) 「たたき台1」も「たたき台2」も四宮保育園の「園庭面積が現状よりも小さくなる」と「留意点等」に記載されています。「たたき台2」は敷地面積が現四宮区民集会所の敷地面積分増えるので、園庭面積の減少が「たたき台1」と「たたき台2」が同じであるとは論理的に理解できません。園庭面積は減少するが、「たたき台1」と「たたき台2」ではその程度が異なることのご説明を戴きましたが、まだ明確に理解できたとは感じられません。</p> <p>上記(1)、(2)の理解を明確にさせるために、次回には各たたき台で想定されている更新する施設の具体的なイメージ（上下で施設を分けるのか、左右で施設を分けるのか等々）をご提示戴ければと思います。</p> <p>2. 今回ご提示戴いた「たたき台」に、「たたき台1」と「たたき台2」があることが分かり、未だ決定した訳ではないにしろ、ひとまずほっとしました。地元で生まれ育ち、自らおよび親、子、孫が永年愛用して来、これからも自ら、子、孫さらにその子孫が利用していく施設が現在の場所で更新されることを切に願っております。</p>

【保育園の仮園舎について】遊び場116番への移転には反対です 踏切にあまりにも近すぎて園児の飛び出し事故 騒音問題 ラッシュ時間問題等があるので移転先の再検討をお願いします (上井草自転車集積所) 現状約半分しか使用されていないと認識してます高井戸集積所も跡地活用方法が決まっていなはずなので仮園舎(本移転)の検討をお願いします 他の区立保育園の仮園舎移転距離ともあまり変わらないと思います 集積所を活用するによって上井草児童館建替時の用地になると思います 集積所に本移転出来たら敷地①②に今よりかなり大きな集会施設が出来ると思います(井草森公園一帯)旧杉並中継所も計画され区内でも最大級の公園なので仮園舎なら公園利用者への負担は少ないと思います また数年後には井草保育園井草児童館内の改築時の仮園舎問題もあるので有効活用出来ると思います (四宮小学校内)教育環境への影響とはどのような事なのか詳しく知りたい(今度のこどもの居場所作りに重要)今後学童クラブが小学校内に移転するなら仮園舎として使用しその後学童クラブに転用すればよいのではないのか 放課後等居場所事業が四宮小学校でも始まるので四宮森児童館を学童クラブと保育園(仮園舎)にすればよいのでは検討してほしい 【図書館】23区内で電子図書への対応が一番遅れていると思うので区内初電子図書対応館になると嬉しい(問題点とどの程度のスペースが必要か知りたい)図書館と集会施設を合築する際併設と複合化のそれぞれのメリットデメリットをもう少し知りたい(永福図書館と高円寺図書館)図書館としての本来機能をもっと知りたい(読書資料閲覧等)四宮小学校における学びのプラットフォーム運用の実現性(放課後等の図書館の開放)四宮森児童館の児童図書への対応強化ができるのか確認してほしい 井草区民センターの図書の在庫数や図書スペースを一時的に増やすことが可能か確認してほしい 【ゆうゆう館】杉並区において今後令和22年頃には高齢者人口がピークを迎え高齢者世帯の約57%が単身世帯になる事を前提にした施設数を確保してほしい ゆうゆう館は老人福祉法に基づく施設で集会施設とは設置目的が違う事をワークショップ参加者に詳しく説明してほしい 【集会施設】ゆうゆう館と集会所の合築でもコミュニティふらっとのようなラウンジやトイレの共有は本当に出来ないのか 【その他】老人福祉法の観点でゆうゆう館とコミュニティふらっとの両条例を比較した際ゆうゆう館条例の位置づけがコミュニティふらっと条例には存在していないと思う コミュニティふらっとの条例変更は可能なのか 杉並区のように高齢者施設をコミュニティふらっとのような施設に全館機能移転を計画化している23区はあるのか ゆうゆう館の存続を願っても多世代交流や部屋の使用率の話をされるとなかなか意見が言いづらいと思う こどもの居場所は増えるばかりで高齢者の居場所が減るのは納得いかない ゆうゆう館も一般無料開放してる所もある事もワークショップの中で伝えてほしい 区長が変わったとしてもコミュニティふらっとを作る事によって児童館がなくなる事は当面ないと考えよいか コストが一番安くなる案がいい 少子高齢化を考えるとゆうゆう館を最優先に考えてほしい 図書館を使う人と使わない人でワークショップの話は噛み合わないと思うので杉並区として何を一番大事しているのか知りたい(コスト 公共サービス地域コミュニティ等)コミュニティふらっとになると集会所やゆうゆう館よりも業務委託会社等の権限(自主事業)が強くなりセンター協議会の機能が弱くなると思う コミュニティふらっとの自主事業が区民のニーズやコミュニティふらっとの本来目的にあてないと思う コスト面集会機能の事を考えるとコミュニティふらっとにするのが一番良いと思う 杉並区がよく使う地域特性の基準を教えてください 敷地③に図書館を整備する際にその他機能を付加してほしい(武蔵野プレイス参考に)最低50年先を見据えた施設整備を考えてほしい 保育園ではなく区立子供園が必要だと思う(民間保育園は井草地域には沢山あると認識)一番早く工事が始まるプランを知りたい 第4回のワークショップを開催する前にオープンハウスを開催してほしい 仮園舎整備は反対本園舎移転先を探してほしい 一部の住民に予算を使いすぎているのか(来年度ワークショップのやり方を見直してほしい)今年度のワークショップでソフト面の話し合いまで出来るのでしょうか 集会所ゆうゆう館閉鎖期間中近隣児童館の目的外利用を活用する事は可能なのか(条例変更が必要と認識)仮園舎を整備する際は改めて地域説明会をやる計画はあるのか 井草地域はコスト削減で小規模な施設しか整備されず他地域に大規模施設を整備する事は納得出来ない(旧若杉小学校旧杉並第一小学校中高生優先機能児童館新設等)整備配置が決まってからソフト面のワークショップやオープンハウスを企画した方がよいのではないのか(ゼロベースからの区民参加は無理が生じる 区民意見を取り入れるには限界があると認識)仮園舎の整備費用が知りたい いつまでに配置案を決定しなければいけないか知りたい たつき台③にした際に特に地域住民からの大きな反対運動が起きる事も想定しているのか たつき台③は駅からの図書館への距離が今までより近くなって良いと思う 旧杉並中継所の有効活用で予算を使うなら今回の施設整備に沢山の予算を回してほしい 中央図書館の朝の行列緩和の為に図書館の資料閲覧スペースを広くとってほしい 児童館も昔のように土日完全開館にし学習スペースを確保すれば図書館の資料閲覧スペースの混雑もかなり解消出来ると思う どの施設も給水機より冷水機がほしい みどりの充実も大事だが大胆な整備計画も必要だと思う

書類を受け取ったのがワークショップ開催日の前日(夕方)でした。もう少し早めに投函いただくと有り難いです。柿木図書館及び周辺施設の更新に関する検討、と明記せず、周辺施設の部分を該当施設名にしていれば、毎回意見交換前に話を戻さず、課題に向き合えたように思います。(私の班の場合ですが…)

区から「公共施設の寿命は60年、長寿命だと80年」と伺った。
図書館が使えない6年間を懸念する気持ちも理解できるが、60年、80年先の区民のことを考え、ふさわしい公共施設の配置となるようにしたい。

話し合いの時間が不足気味のまま、慌ただしく話し合う割には、最後に時間が余り、何か意見を言いたい方は?となるのは、進行に問題があると感じる。それぞれがしっかり話し合う時間を最優先としてほしい。
最後に進行役が、班ごとに発表された内容を再度、まとめる必要もないのではないのか。

また次回も楽しみにしております。

・案3についての懸念

高円寺図書館を見学した人にとっては、図書館と集会施設が一緒になった案3が非常に魅力的に思えます。

ミニ図書館のようなものができるならば、案3しかない判断するでしょう。

しかし、敷地が高円寺図書館ほどありません。しかも高円寺図書館は地下を含めて、4フロアもありますが、そのようなことがこの場所のできるのでしょうか。

現在の四宮区民集会所の部屋数は3部屋、ゆうゆう四宮館は一般和室を含めて3部屋、合計6部屋です。3案にした場合、部屋数を現在以上にしたり、ラウンジを作成したり、図書館の本棚以外のスペースを今以上にしたりすることはできるのでしょうか。

部屋数も含めて、具体的に示していただかないと、判断を誤ります。区は案3にしたいくて高円寺図書館を見学させたのではないかと勘ぐってしまいます。

・集会施設工事期間中の代替施設

保育園と図書館については、工事期間中の対応は記述されていますが、集会施設に関しては、単に『周辺施設を利用する』としか書かれていません。全ての案に共通ではありますが、区としてのお考えを明記してください。候補でも構いません。

・タイムスケジュール

スライド23頁に言葉で書かれていますが、分かり難いです。提示された状態になるのが何年後になるのかが分かりません。

それぞれの施設について、現在の施設がいつまで使えるのか、工事期間、代替施設の使用期間、休館時期、新施設の使用開始時期等をグラフに提供していただけないでしょうか。